

高気圧酸素療法の第一人者が、基礎・臨床および黎明期から今日に至るまでの開発の歴史と研究歴をまとめた集大成！

# 高気圧酸素治療の基礎と臨床

このチラシでお申込みの方  
限定・期間限定  
ディスカウント：  
150冊限定!  
50%off

ほぼ辞典!!



ぜひ!書棚に1冊!!

- 第5章 適応疾患総論  
A. HBO の適応疾患の分類  
B. 標準的治療法

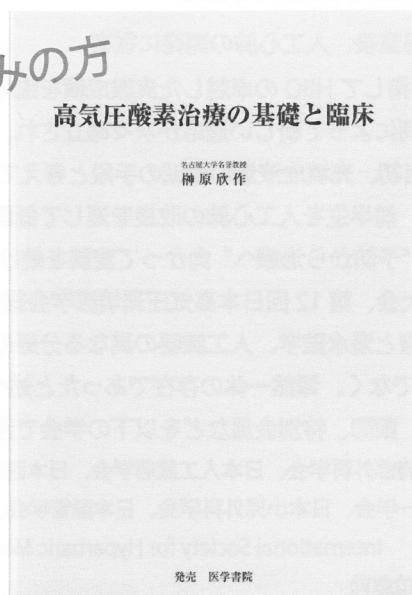
## 第6章 適応疾患各論

- A. 一酸化炭素および他の組織毒による中毒  
B. ショック  
C. 網膜動脈閉塞症  
D. 突発性難聴  
E. 創傷および血管障害  
F. 空気塞栓と腸閉塞  
G. 感染症および悪性腫瘍  
H. その他の適応

## 第7章 副作用、合併症および事故

## 第8章 終章

索引



発売 医学書院

## 目次

- 第1章 序論  
第2章 高気圧治療の歴史  
第3章 酸素と生体  
A. 酸素の物理・化学的性質  
B. 酸素と血液  
C. HBO の生理学的根拠  
D. 酸素の毒性と酸素中毒  
第4章 HBO の装置  
A. HBO 装置の構造と性能  
B. HBO 装置の開発と改良の軌跡  
C. その後の高気圧治療装置



細密なデータ!画像!

お申込み、詳しくは裏面から!

著：榎原 欣作

判型 B5 頁 664

発行 2009年09月

定価 18,900 円 (税込)

ISBN978-4-260-70068-9

50%off

9450円!

(税込)

更に!まとめるとお得!

2冊以上は1冊 8400円  
(税込)

5冊まとめると1冊あたり  
6300円  
(税込)



扱いやすい索引!

# 高気圧酸素治療の基礎と臨床

医科器械、HBOと人工臓器は別個の存在でなく、渾然一体の存在であったと述べ

前半生を人工心肺の改良を通じて低酸素症の予防に、後半生は低酸素症治療法としての HBO の適応拡大に終始し

“予防から治療へ”向かって変貌を続けた人生だったと述べる著者の生涯を通した研究の集成！

高気圧酸素療法の第一人者が基礎・臨床および黎明期から  
今日に至るまでの開発の歴史と研究歴をまとめた貴重な1冊！

著者 楠原欣作 Kinsaku Sakakibara

名古屋大学医学部附属病院 外科に入局直後、人工心肺の開発に従事。

1962年人工心肺の充填血液量節減を目指して HBO の卓越した実験成績を臨床に反映させたいと、'66年臨床用の小型装置を製作し臨床応用を開始、自験例によって新しい適応が次々確立され、大型高気圧手術室装置も竣工。

'72以降は名古屋大学の HBO は伸長。当初、充填血液量の節減の手段と考えていた HBO は、個々の全身的・局所的低酸素症に卓効を奏し得る治療法と確認、前半生を人工心肺の改良を通じて低酸素症の予防に、後半生は低酸素症治療法としての HBO の適応拡大に終始し、“予防から治療へ”向かって変貌を続けた人生だったと述べている。

また '77年第52回日本医科大学大会、第12回日本高気圧環境医学会総会、第15回日本人工臓器学会大会の3学会を主宰、医科器械、高気圧酸素治療と潜水医学、人工臓器の異なる分野の3学会を運営したことをふりかえり、医科器械、HBO と人工臓器は別個の存在でなく、渾然一体の存在であったと述べている。

幹事、評議員、名誉会員、理事、理事長、顧問、特別会員などを以下の学会で歴任、

日本医学会、社団法人日本外科学会、日本胸部外科学会、日本人工臓器学会、日本医科器械学会、日本高気圧環境医学会、日本バイオマテリアル学会、日本エム・イー学会、日本小児外科学会、日本脈管学会、日本心臓血管外科学会、日本災害医学会  
Undersea and Hyperbaric Medical Society, International Society for Hyperbaric Medicine

'86 プレマ賞、平成23年瑞宝中綬章正五位叙勲

☆ お申し込みは Fax. またはインターネットから ☆

Fax. は下記にご記入の上、052-263-9841 「サミュゼ」まで

(機械の調子で送信しづらい場合は 052-733-4360 まで)

インターネットは

samuser-takayo@mta.biglobe.ne.jp 「サミュゼ」あて メールでお願いします。

以下、Fax. 申し込み用紙（ご記入の上、このままご送信くださいませ）

「高気圧酸素治療の基礎と臨床」を

冊申し込みます。

代金合計

円を

1冊・・9450円

2~4冊は1冊あたり 8400円

このFax.送信後、郵便局窓口から青い払い込み用紙で  
00140-0-552038 サミュゼあてに払い込みます。

年 月 日

おなまえ

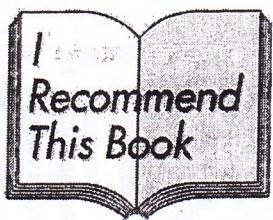
印

ご住所

-

本はお支払の確認（お支払後 郵便局から報告来るまで3日かかります）とれ次第  
1週間前後でクロネコヤマトの宅急便（着払い）で届きます。到着時に、宅急便  
送料分は恐れ入りますがドライバーにお支払下さいませ。

お電話番号 ( )



# 臨床工学技士に薦める 今月の一冊

## 「高気圧酸素治療の基礎と臨床」

榎原欣作〔著〕



この本の巻頭の一節に「本書は HBO の教科書ではない。HBO に関する私の経験である。」とある。HBO は、いうまでもなく高気圧酸素治療、hyperbaric oxygen therapy の略記である。しかし、2009 年に本書が出版された当時はいうに及ばず、5 年以上を過ぎた現在においても、これだけ HBO について広範かつ精緻な内容が網羅された書籍はわが国で見当たらない。

筆者は 1975 年に名古屋大学医学部附属病院高気圧治療部へ HBO の技師として入職したが、その前年の 1974 年に日本高気圧環境医学会（現・日本高気圧環境・潜水医学会）が高気圧酸素治療技師を養成するために開催した第 1 回技師講習会に参加した。しかし、この講習会ではテキストもなく、レジュメ程度の配布資料で受講した記憶がある。その後は高気圧治療部の医師や先輩技師に HBO についていろいろと教えていただいたが、そのときにこの本は勉強になるから見るとよいと、大阪大学の恩地裕先生が執筆された『高気圧酸素療法』（1967 年発刊、永井書店）を渡された。その本は HBO 全般が簡潔に書かれており、入門書として信頼できる好書といわれていたが、再版もなくすでに絶版となっていた。

こうした教科書とも呼ぶべき成書が得られない状況の中で、技師が HBO の知識を得るには日本高気圧環境医学会主催の技師講習会を受講する方法しかなかった。しかしこの技師講習会テキストすら、筆者が受講した何年か後になってようやく作成され受講生に配布されるようになった。いうなれば、今回、筆者が推薦する『高気圧酸素治療の基礎と臨床』が出版されるまでは、邦文で HBO 全般を網羅した専門書は皆無であったといっても過言ではない。

この本の著者である榎原欣作先生は名古屋大学医学部附属病院高気圧治療部の初代部長教授で、また

日本高気圧環境医学会の前身の高気圧酸素治療研究会当時から関与され、学会となってからも長らく理事長を続けられ、わが国の HBO 衆界をリードされてきた。また長らく厚生省（現・厚生労働省）の薬事審議会臨時委員を委嘱され、医療機器の審査も行ってこられた。

本書は、「第 1 章 序論」「第 2 章 高気圧治療の歴史」「第 3 章 酸素と生体」「第 4 章 HBO の装置」「第 5 章 適応疾患総論」「第 6 章 適応疾患各論」「第 7 章 副作用、合併症および事故」「第 8 章 終章」から構成されている。

第 1 章では、「I. HBO に関する気体の物理学」「II. 圧力の単位」「III. HBO に関する用語」について書かれている。これらは、HBO を理解するうえで最も重要な内容である。第 2 章では、高い気圧と人類のかかわりなどが取り上げられており、いわゆる歴史的興味にとどまらず、異常な気圧内での治療を理解するうえで必要なことを学ぶことができる。第 3 章では、酸素は生命維持のために必要不可欠な物質であるが、過剰な酸素は毒性を発揮することなど、酸素の生体に対する作用が記述されている。第 4 章では、「A. HBO の構造と性能」「B. HBO 装置の開発と改良の軌跡」「C. その後の高気圧治療装置」に分けて書かれている。ここでは HBO 装置が薬事法（現・医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律）や高压ガス保安法、日本工業規格、日本高気圧環境・潜水医学会制定の安全基準などで規制されていることにも言及している。ここでは一人用の第 1 種治療装置と多人数用の第 2 種治療装置それぞれの、製造や設置について詳述されている。第 5 章では、「A. HBO の適応疾患の分類」「B. 標準的治療法」が書かれている。第 6 章では、世界各国やわが国の適応分類について、第 7 章では、気圧外傷、酸素中毒などの対応方法や国内と海外で起きた HBO の火災事故と海外の装置火災が網羅されている。第 8 章では著者の略歴と称し、著者が歩んできた道が書かれている。

最後に加えて引用すると、著者は本書執筆を 3 度断念したことが述べられている。その理由を知り、著者の執筆に対する厳格な姿勢に畏敬の念を感じ得ない。

本書は、HBO に従事する臨床工学技士や教壇で学生に教える教員、HBO を実施する施設や医師にぜひとも薦めたい一冊である。

（中部大学 西山博司）